

第4章 主要原料・食品の需給と価格変動

概 要

- 1 畜産食料品
- 2 水産食料品
- 3 農産食料品
- 4 製穀粉・同加工品
- 5 食用油脂・同加工品
- 6 調味料
- 7 大豆・同加工品
- 8 飲料
- 9 調理冷凍食品

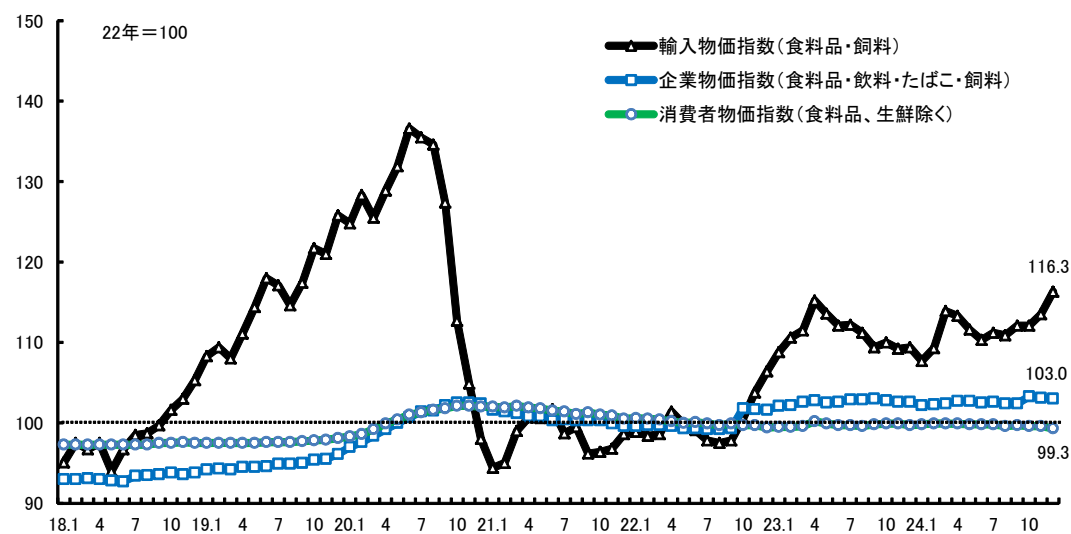
概 要

平成 24 年の食料品・飼料の輸入物価は、対前年比で 0.7 %と前年並みとなった。平成 22 年から米ドル安円高にもかかわらず、主要穀物の高騰が食料品の輸入物価を押し上げている。

平成 24 年の食料品・飲料・たばこ・飼料の企業物価は、対前年比で同水準となった。

平成 24 年の食料品（生鮮を除く）の消費者物価指数は、対前年比で▲ 0.1 %となった。平成 22 年に緩やかに低下し、以降は横ばいで推移しており、企業物価と乖離がみられる。なお、生鮮を含む食料品は対前年比 0.1 %となっている。

図4-1 **加工食品** の輸入物価、企業物価、消費者物価の推移



資料：日本銀行「輸入物価指数」「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-1 **加工食品** の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 食料品・飼料	企業物価 食料品・飲料・たばこ・飼料	消費者物価 食料品(生鮮除く)
指数 22年=100			
18年	98.7	93.3	97.4
19年	115.6	94.8	97.7
20年	124.1	100.5	100.7
21年	98.1	100.6	101.5
22年	100.0	100.0	100.0
23年	111.1	102.6	99.8
24年	111.9	102.6	99.7
前年増減率 %			
19年	17.1	1.7	0.3
20年	7.4	5.9	3.1
21年	▲ 20.9	0.1	0.8
22年	1.9	▲ 0.6	▲ 1.5
23年	11.1	2.6	▲ 0.2
24年	0.7	0.0	▲ 0.1

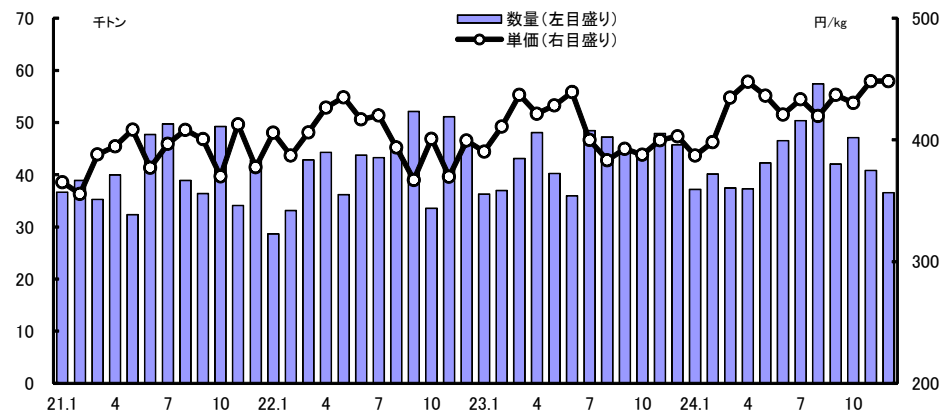
資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

1 畜産食料品

牛肉の平成24年の輸入量は、対前年比▲0.6%（23年は3.6%増）と前年並み、輸入単価（CIF価格、以下、同じ）は同5.2%とやや上昇。輸入単価は年末に上昇。

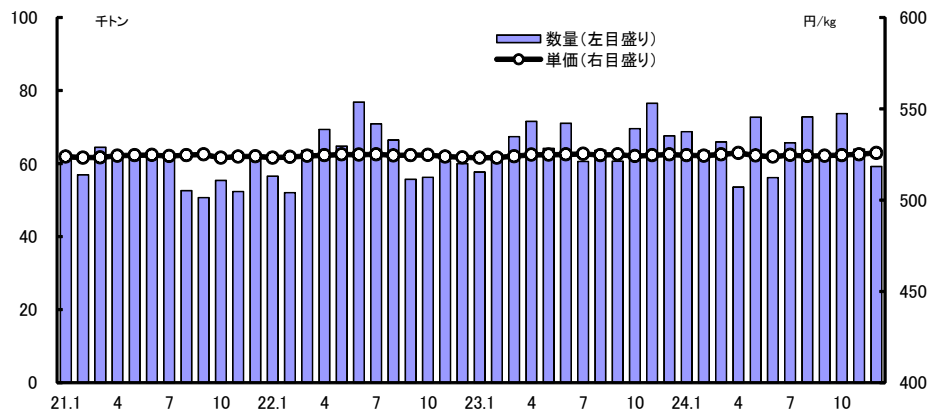
豚肉の平成24年の輸入量は、対前年比▲1.8%（23年は5.3%増）とわずかに減少、輸入単価は同0.0%と前年並み。輸入単価は安定。

図4-2 牛肉の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-3 豚肉の輸入量と輸入単価の推移



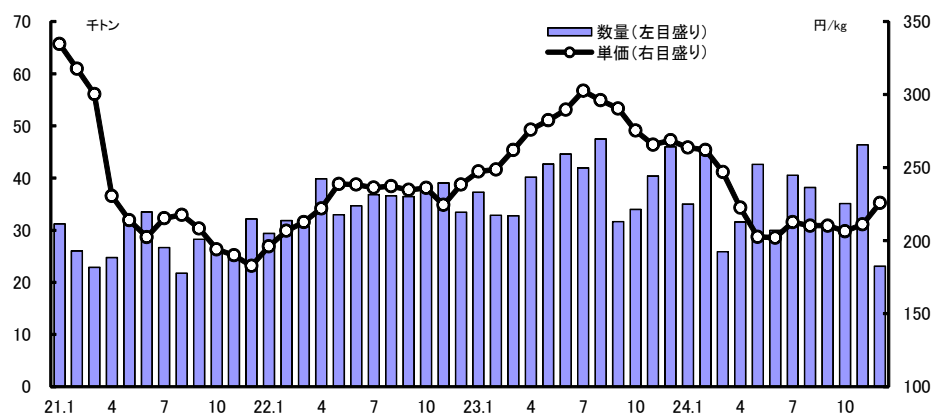
資料:財務省「貿易統計」

鶏肉の平成24年の輸入量は、対前年比▲9.9%（23年は12.3%増）とかなりの程度減少、輸入単価は同▲19.4%の大幅な低下。輸入単価は平成23年末以降低下。

ソーセージの平成24年の輸入量は、対前年比12.0%（23年は5.4%増）とかなり大きく増加、輸入単価は同4.0%とやや上昇。輸入単価は平成22年末から上昇基調。

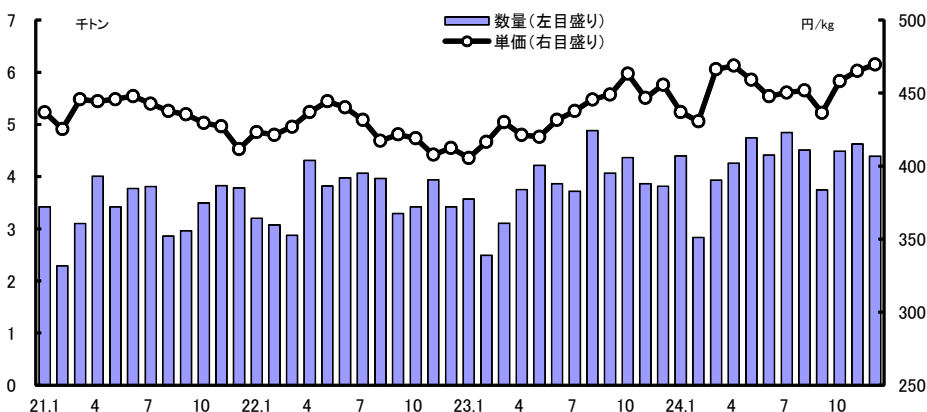
ナチュラルチーズの平成24年の輸入量は、対前年比9.7%（23年は8.2%増）とかなりの程度増加、輸入単価は同▲3.7%とやや低下。輸入量は堅調に拡大。

図4-4 **鶏肉** の輸入量と輸入単価の推移



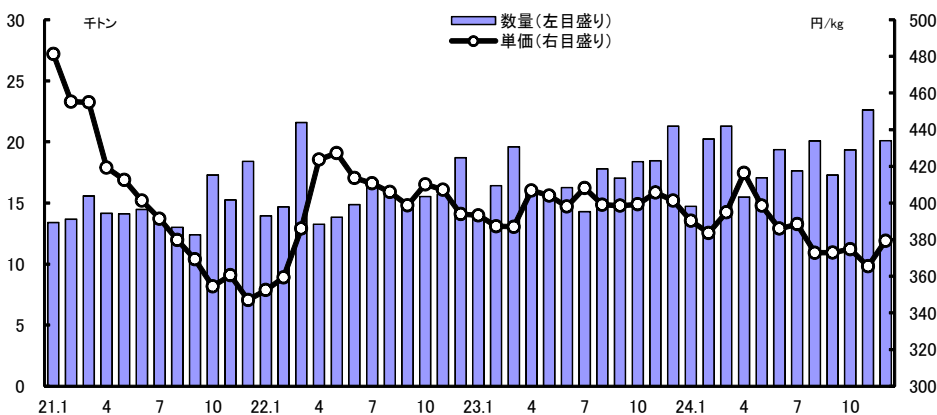
資料:財務省「貿易統計」

図4-5 **ソーセージ** の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-6 **ナチュラルチーズ** の輸入量と輸入単価の推移

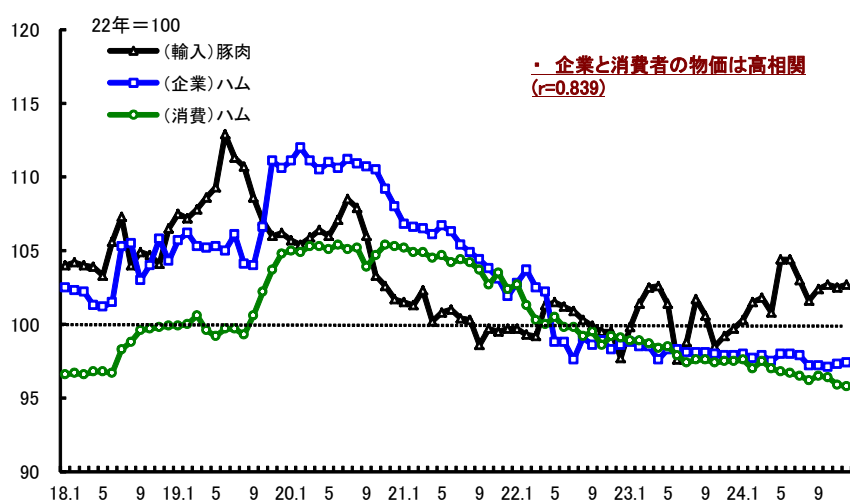


資料:財務省「貿易統計」

ハムの原料である豚肉の平成24年における輸入物価は対前年比2.0%とわずかに上昇であったものの、ハムの企業物価が同▲0.6%（23年は▲1.8%）と前年並み、消費者物価は同▲1.3%とわずかに低下。月別推移についてみると、輸入物価は上昇気配、企業物価は横ばい、消費者物価は低下傾向となっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成18年以降、連動しており、相関が高い。

図4-7 **ハム**の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-2 **ハム**の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

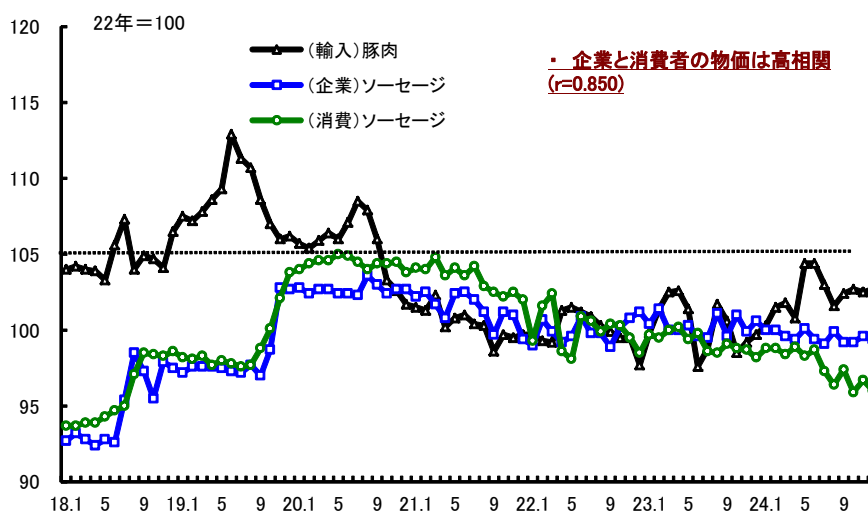
	輸入物価 豚肉	企業物価 ハム	消費者物価 ハム
指数 22年=100			
18年	104.7	103.2	98.1
19年	108.6	106.3	100.8
20年	105.5	110.6	105.0
21年	100.4	105.2	104.2
22年	100.0	100.0	100.0
23年	100.3	98.2	98.0
24年	102.3	97.6	96.7
前年増減率 %			
19年	3.7	2.9	2.8
20年	▲2.8	4.0	4.2
21年	▲4.8	▲4.8	▲0.8
22年	▲0.4	▲5.0	▲4.0
23年	0.3	▲1.8	▲2.0
24年	2.0	▲0.6	▲1.3

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

ソーセージの原料である豚肉の平成24年における輸入物価は対前年比2.0%とわずかに上昇したものの、ソーセージの企業物価は同▲0.7%前年並み、消費者物価は同▲1.6%（23年は▲0.8%）とわずかに低下。月別推移についてみると、輸入物価は上昇気配、企業物価は横ばい、消費者物価は低下傾向となっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成18年以降、連動しており、相関が高い。

図4-8 ソーセージの輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-3 ソーセージの輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

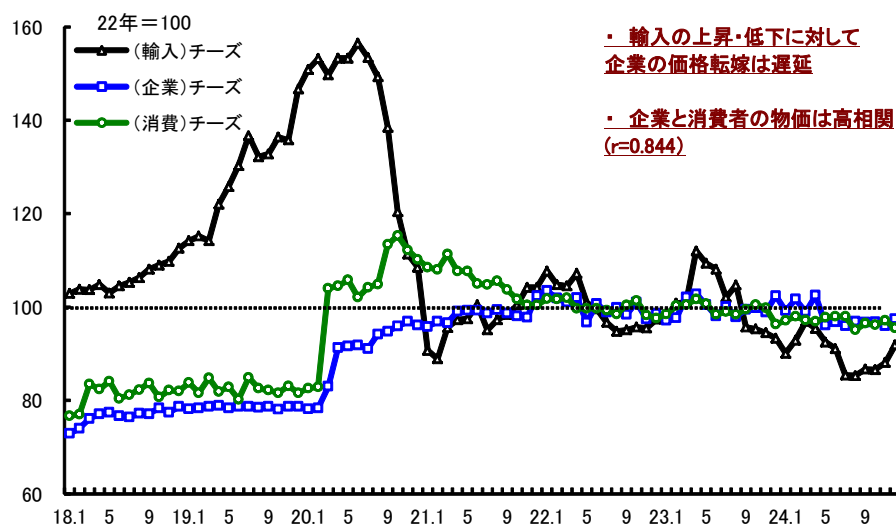
	輸入物価 豚肉	企業物価 ソーセージ	消費者物価 ソーセージ
指数 22年=100			
18年	104.7	94.9	95.9
19年	108.6	98.4	99.0
20年	105.5	102.7	104.4
21年	100.4	101.4	103.4
22年	100.0	100.0	100.0
23年	100.3	100.3	99.2
24年	102.3	99.6	97.6
前年増減率 %			
19年	3.7	3.7	3.2
20年	▲2.8	4.3	5.5
21年	▲4.8	▲1.3	▲1.0
22年	▲0.4	▲1.4	▲3.3
23年	0.3	0.3	▲0.8
24年	2.0	▲0.7	▲1.6

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

チーズの平成24年の輸入物価は対前年比▲10.9%（23年は1.2%）とかなりの程度低下したことから、企業物価は同▲1.8%、消費者物価も同▲2.5%（23年は▲0.5%）とそれぞれわずかに低下。月別推移についてみると、輸入物価は夏場まで低下基調で推移していたが、その後は上昇に転じている。企業物価と消費者物価はゆるやかに低下傾向となっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成18年以降、連動しており、相関が高い。

図4-9 チーズの輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-4 チーズの輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

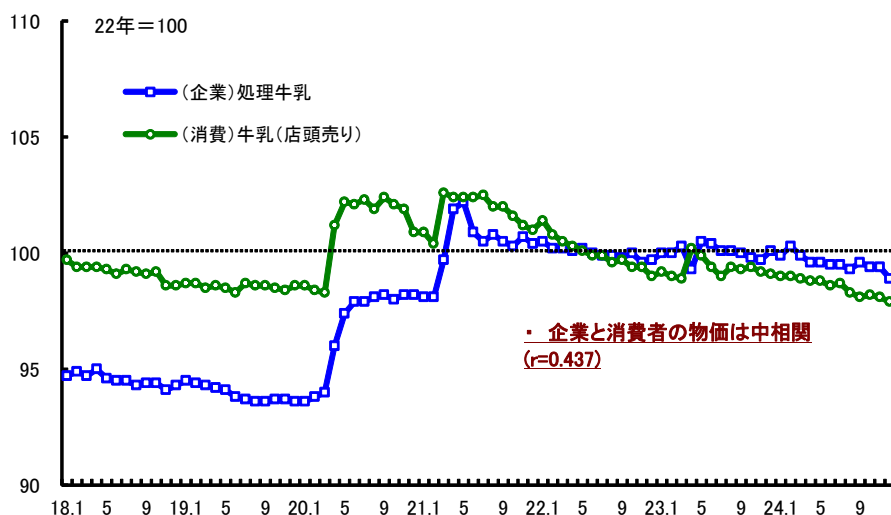
	輸入物価 チーズ	企業物価 チーズ	消費者物価 チーズ
指数 22年=100			
18年	106.2	76.6	81.3
19年	128.5	78.6	82.6
20年	141.5	90.3	103.5
21年	97.5	98.5	105.4
22年	100.0	100.0	100.0
23年	101.2	99.7	99.5
24年	90.2	97.9	97.0
前年増減率 %			
19年	21.1	2.5	1.6
20年	10.1	14.9	25.3
21年	▲ 31.1	9.1	1.8
22年	2.5	1.5	▲ 5.1
23年	1.2	▲ 0.3	▲ 0.5
24年	▲ 10.9	▲ 1.8	▲ 2.5

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

牛乳の平成24年度の企業物価は対前年比▲0.4%（23年は0.0%）と前年並み、消費者物価も▲0.8%（23年は▲0.6%）と前年並み。月別推移についてみると、企業物価、消費者物価ともに低下傾向。

なお、企業物価と消費者物価は平成18年以降、相関がみられる（中相関）。

図4-10 牛乳の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

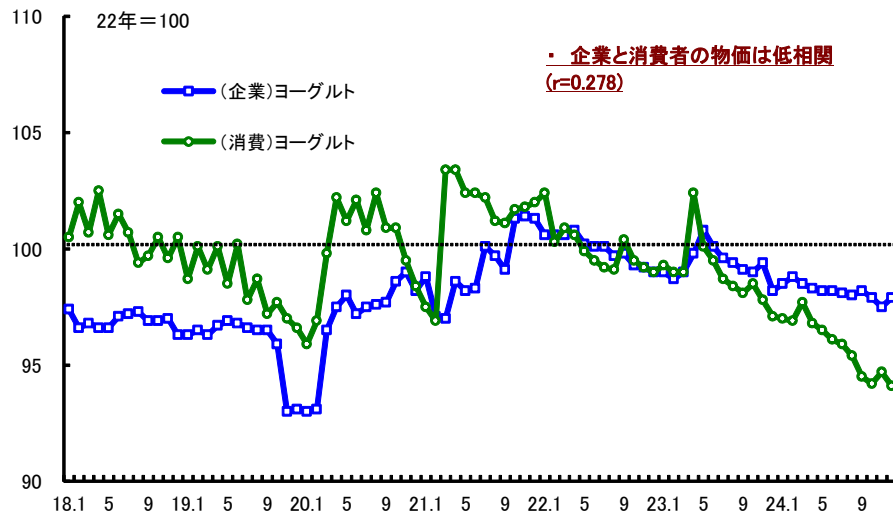
表4-5 牛乳の企業物価・消費者物価の推移

	企業物価 処理牛乳	消費者物価 牛乳
指数 22年=100		
18年	94.5	94.9
19年	93.9	94.6
20年	96.8	97.7
21年	100.3	101.0
22年	100.0	100.0
23年	100.0	99.4
24年	99.6	98.6
前年増減率 %		
19年	▲ 0.6	▲ 0.3
20年	3.0	3.3
21年	3.7	3.4
22年	▲ 0.3	▲ 1.0
23年	0.0	▲ 0.6
24年	▲ 0.4	▲ 0.8

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

ヨーグルトの平成24年の企業物価は対前年比▲1.2%とわずかに低下で、消費者物価は▲3.2%とやや低下。月別推移についてみると、企業物価と消費者物価とも低下基調で推移している。なお、企業物価と消費者物価は平成18年以降、相関が低い。

図4-11 ヨーグルトの企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-6 ヨーグルトの企業物価・消費者物価の推移

	企業物価 ヨーグルト	消費者物価 ヨーグルト
指数 22年=100		
18年	96.9	100.7
19年	95.9	98.5
20年	97.0	100.1
21年	99.2	101.3
22年	100.0	100.0
23年	99.3	99.0
24年	98.2	95.8
前年増減率 %		
19年	▲ 1.0	▲ 2.2
20年	1.1	1.6
21年	2.3	1.2
22年	0.8	▲ 1.3
23年	▲ 0.7	▲ 1.0
24年	▲ 1.2	▲ 3.2

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

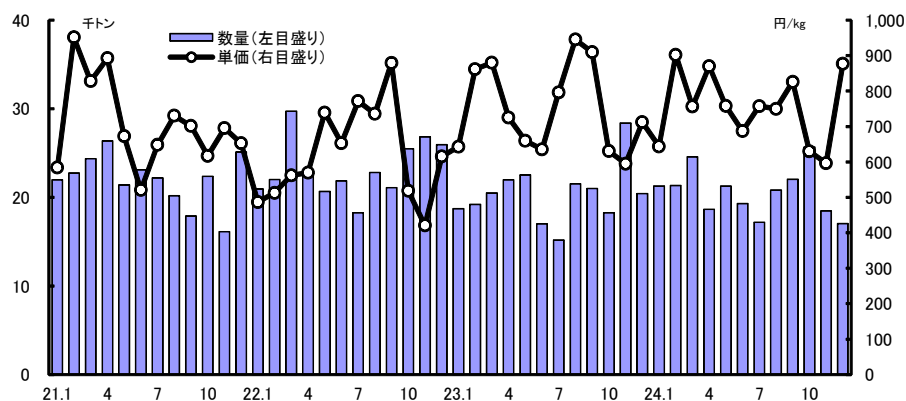
(2) 水産食料品

かつお・まぐろ類（生・蔵・凍）の平成24年の輸入量は、対前年比1.2%（23年は▲12.0%減）とわずかに増加、輸入単価は同0.7%と前年並み（23年は21.8%上昇）。

たら（生・蔵・凍・すり身）の平成24年の輸入量は、対前年比26.9%（23年は23.0%増）と大幅な増加、輸入単価は同14.7%（23年は▲20.5%低下）とかなり大きく上昇。

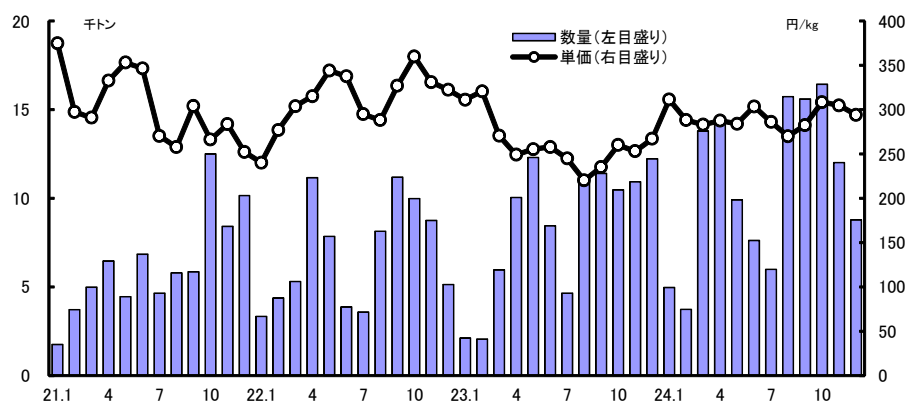
さば・さんま・あじ・いわしの平成24年の輸入量は、対前年比▲12.2%（23年は▲17.6%減）とかなり大きく減少、輸入単価は同▲5.0%（23年は10.7%）とやや低下。

図4-12 **かつお・まぐろ類**（生・蔵・凍）の輸入量と輸入単価の推移



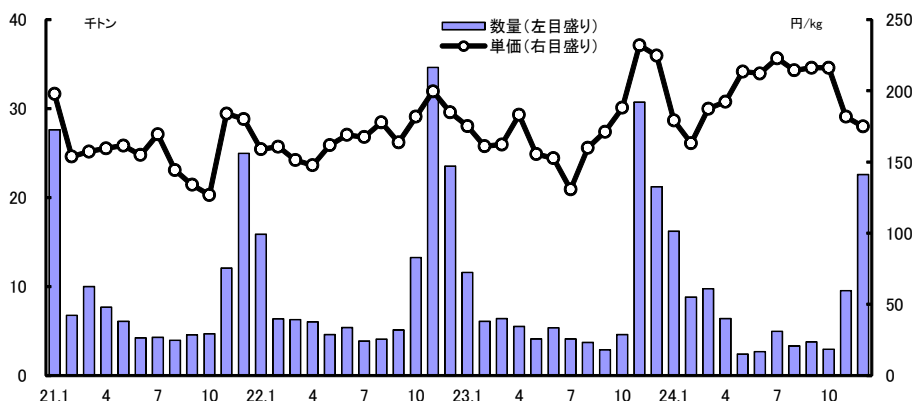
資料:財務省「貿易統計」

図4-13 **たら**（生・蔵・凍・すり身）の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-14 **さば・さんま・あじ・いわし**の輸入量と輸入単価の推移

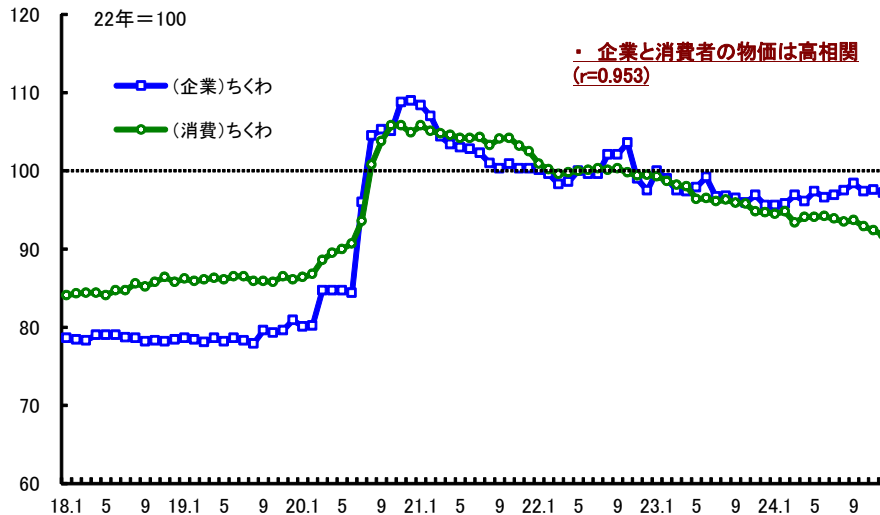


資料:財務省「貿易統計」

ちくわの平成24年の企業物価は対前年比▲0.5%（23年は▲2.6%）と前年並み、一方、消費者物価は▲3.2%（23年は▲3.3%）と低下。月別推移についてみると、企業物価、消費者物価ともに低下しているが、企業物価に対して消費者物価の低下幅が大きくなっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成18年以降、連動しており、相関が高い。

図4-15 **ちくわ**の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-7 **ちくわ**の企業物価・消費者物価の推移

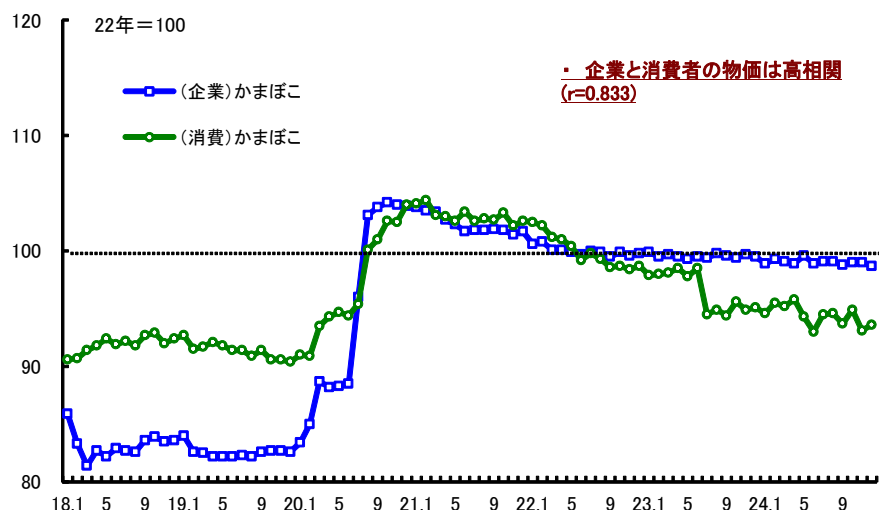
	企業物価 ちくわ	消費者物価 ちくわ
指数 22年=100		
18年	78.6	85.0
19年	78.8	86.1
20年	94.0	95.6
21年	102.8	104.2
22年	100.0	100.0
23年	97.5	96.7
24年	97.0	93.6
前年増減率 %		
19年	0.4	1.3
20年	19.2	11.0
21年	9.5	9.0
22年	▲ 2.8	▲ 4.0
23年	▲ 2.6	▲ 3.3
24年	▲ 0.5	▲ 3.2

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

かまぼこの平成24年の企業物価は対前年比▲0.5%（23年は▲0.4%）と前年並み、一方、消費者物価は▲2.2%（23年は▲3.5%）と低下。月別推移についてみると、企業物価、消費者物価ともに低下で推移しているが、企業物価に対して消費者物価の低下幅が大きくなっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成18年以降、概ね連動しており、相関が高い。

図4-16 かまぼこの企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-8 かまぼこの企業物価・消費者物価の推移

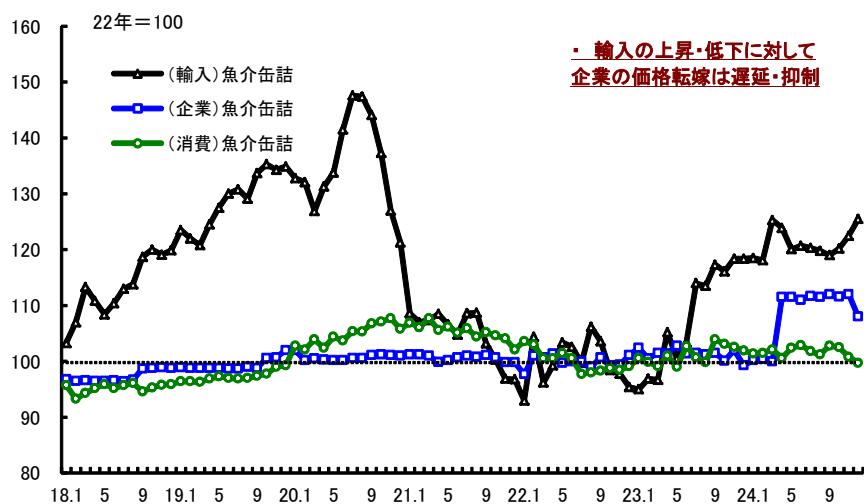
	企業物価 かまぼこ	消費者物価 かまぼこ
指数 22年=100		
18年	83.2	91.9
19年	82.6	91.4
20年	94.8	97.0
21年	102.3	103.1
22年	100.0	100.0
23年	99.6	96.5
24年	99.0	94.4
前年増減率 %		
19年	▲ 0.8	▲ 0.5
20年	14.8	6.1
21年	8.0	6.3
22年	▲ 2.3	▲ 3.0
23年	▲ 0.4	▲ 3.5
24年	▲ 0.5	▲ 2.2

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

魚介缶詰の平成24年度の企業物価は対前年比7.1%（23年は1.3%）とかなりの程度上昇、一方、消費者物価は0.4%（23年は1.2%）と前年並み。月別推移についてみると、企業物価は輸入物価に連動して上昇しているが、消費者物価は横ばいで推移している。

なお、企業物価と消費者物価は平成18年以降、低相関となっている。

図4-17 魚介缶詰の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-9 魚介缶詰の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 魚介缶詰	企業物価 魚介缶詰	消費者物価 魚介缶詰
指数 22年=100			
18年	113.1	97.3	95.3
19年	128.9	99.4	97.3
20年	135.3	100.8	104.8
21年	104.8	100.6	105.3
22年	100.0	100.0	100.0
23年	108.0	101.3	101.2
24年	121.2	108.5	101.6
前年増減率 %			
19年	13.9	2.1	2.1
20年	5.0	1.4	7.7
21年	▲ 22.5	▲ 0.1	0.5
22年	▲ 4.6	▲ 0.6	▲ 5.0
23年	8.0	1.3	1.2
24年	12.2	7.1	0.4

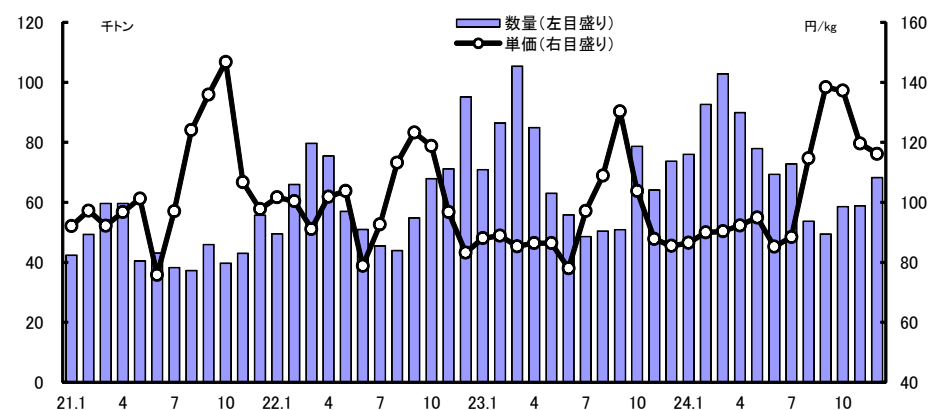
資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

(3) 農産加工品

野菜（生鮮・冷蔵）の平成24年の輸入量は、対前年比で4.5%（23年は10.0%増）とやや増加、輸入単価は同9.7%（23年は▲7.1%）と上昇。

野菜缶・びん詰類等の平成24年の輸入量は、対前年比で6.8%とかなりの程度増加（23年は8.5%増）、輸入単価は同▲0.7%（23年は▲0.9%）と前年並み。

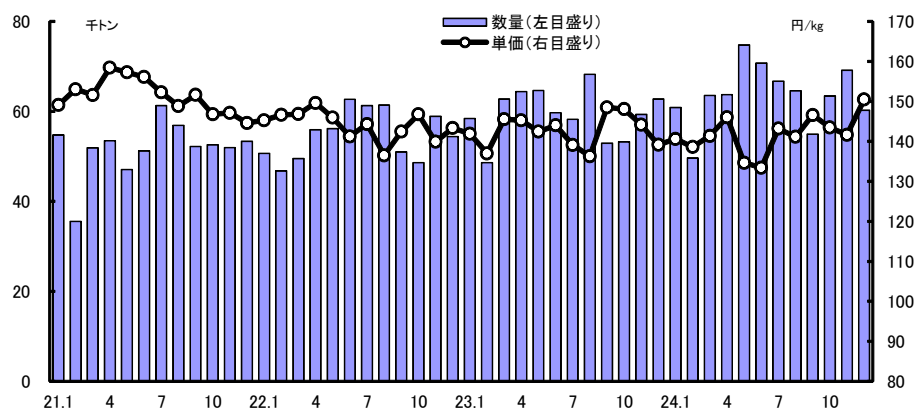
図4-18 **野菜**（生鮮・冷蔵）の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-19 **野菜缶・びん詰類等**の輸入量と輸入単価の推移

図1 野菜缶・びん詰類等の輸入量と輸入単価の推移

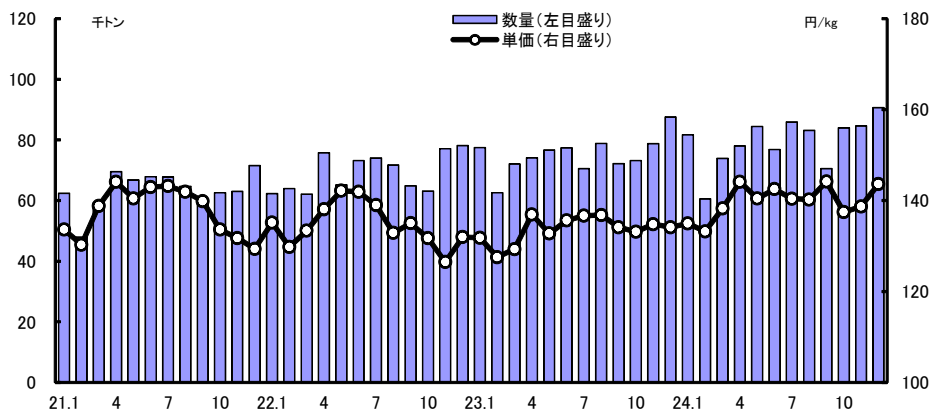


資料:財務省「貿易統計」

冷凍野菜の平成24年の輸入量は、対前年比で5.9%（23年は8.4%増）とやや増加、輸入単価は同4.6%（23年は▲0.8%）と上昇。

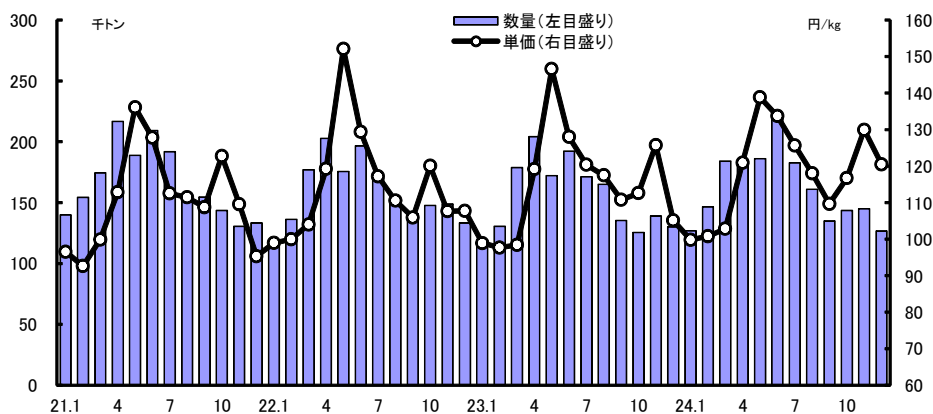
果実（生鮮・乾燥）の平成24年の輸入量は、対前年比で4.3%（23年は▲1.7%）とやや増加、輸入単価は同2.6%（23年は0.4%）と上昇。

図4-20 **冷凍野菜**の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

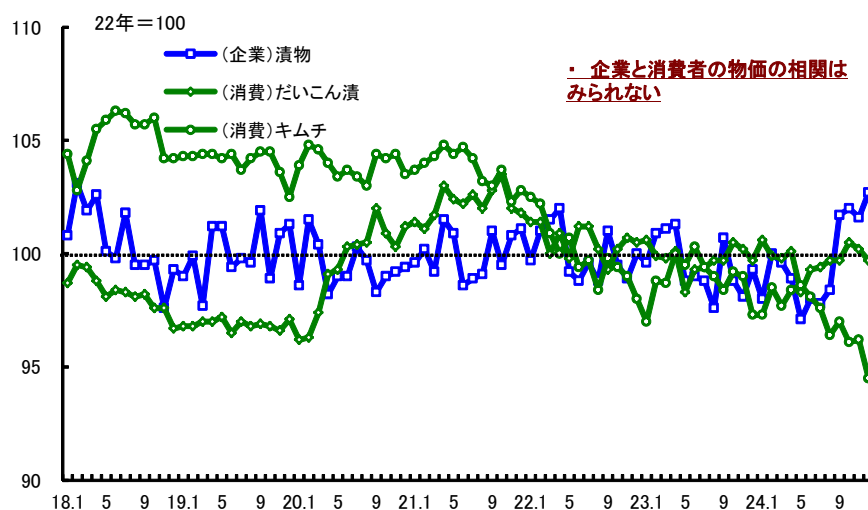
図4-21 **果実（生鮮・乾燥）**の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

漬物の平成24年の企業物価は対前年比0.2%（23年は▲0.5%）と前年並み、一方、だいこん漬の消費者物価も同▲0.2%（23年は▲0.4%）と前年並み、はくさい漬も同0.2%（23年は▲0.1%）と前年並み。

図4-22 漬物の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

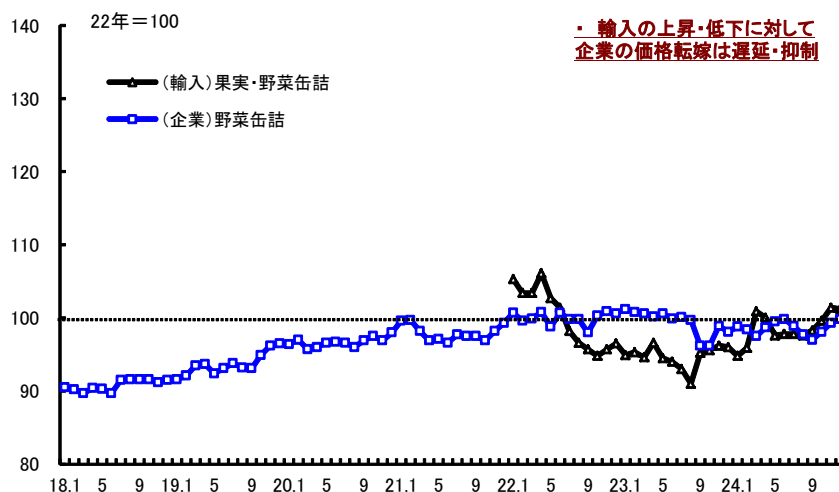
表4-10 漬物の企業物価・消費者物価の推移

	企業物価 漬物	消費者物価 だいこん漬	消費者物価 はくさい漬
指数 22年=100			
18年	100.5	97.7	101.8
19年	100.1	96.3	101.9
20年	99.4	98.9	102.3
21年	100.0	101.6	102.5
22年	100.0	100.0	100.0
23年	99.5	99.6	99.9
24年	99.7	99.4	100.1
前年増減率 %			
19年	▲ 0.4	▲ 1.4	0.1
20年	▲ 0.7	2.7	0.4
21年	0.7	2.7	0.2
22年	▲ 0.0	▲ 1.6	▲ 2.4
23年	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.1
24年	0.2	▲ 0.2	0.2

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

野菜缶詰の平成24年の輸入物価（果実・野菜缶詰）は対前年比4.0%（23年は▲5.2%）と上昇、一方、消費者物価は同▲0.8%（23年は▲0.6%）と前年並み。月別推移についてみると、輸入物価は上昇傾向で推移しているが、企業物価は横ばいで推移している。

図4-23 **野菜缶詰**の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-11 **野菜缶詰**の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

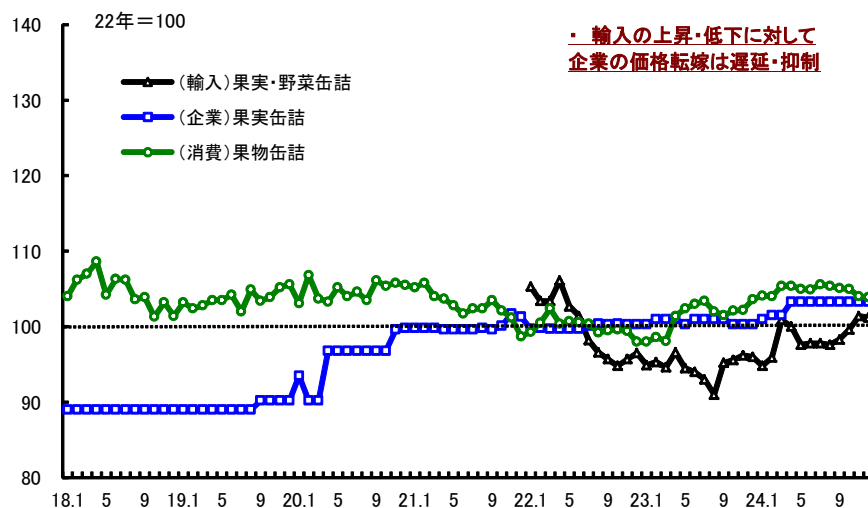
	輸入物価 果実・野菜缶詰	企業物価 野菜缶詰
指数 22年=100		
18年		90.8
19年		93.7
20年		96.7
21年		97.9
22年	100.0	100.0
23年	94.7	99.4
24年	98.6	98.6
前年増減率 %		
19年		3.1
20年		3.2
21年		1.3
22年		2.1
23年	▲ 5.2	▲ 0.6
24年	4.0	▲ 0.8

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

果実缶詰の平成24年の企業物価は対前年比2.1%とわずかに上昇し、消費者物価も同3.4%
(23年は1.4%)と上昇。月別推移についてみると、企業物価及び消費者物価は上昇傾向で推移
している。

なお、企業物価と消費者物価は平成18年以降、相関がみられない。

図4-24 **果実缶詰**の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-12 **果実缶詰**の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 果実・野菜缶詰	企業物価 果実缶詰	消費者物価 果実缶詰
指数 22年=100			
18年		89.0	104.7
19年		89.4	103.7
20年		95.9	104.8
21年		100.0	102.8
22年	100.0	100.0	100.0
23年	94.7	100.7	101.4
24年	98.6	102.8	104.8
前年増減率 %			
19年		0.4	▲ 1.0
20年		7.3	1.1
21年		4.3	▲ 1.9
22年		▲ 0.0	▲ 2.7
23年	▲ 5.2	0.7	1.4
24年	4.0	2.1	3.4

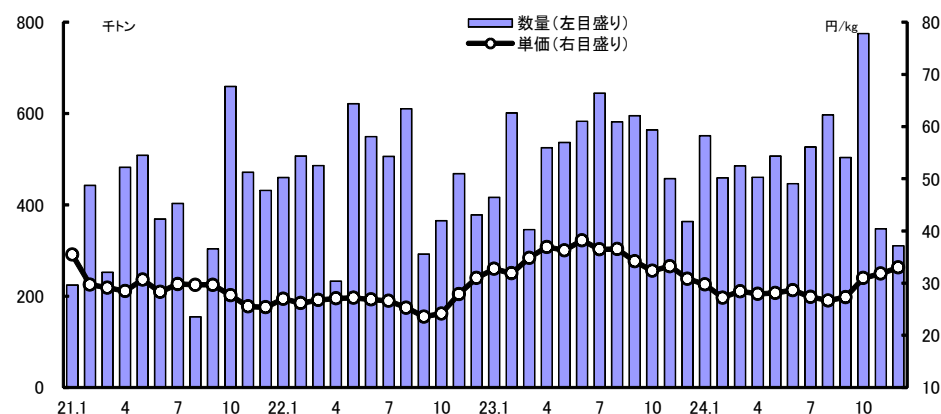
資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

(4) 製穀粉・同加工品

小麦の平成24年の輸入量は、対前年比▲3.9%（23年は13.5%増）とやや減少、輸入単価は同▲17.2%（23年は30.2%）の大幅な低下。しかし、年後半は上昇傾向。

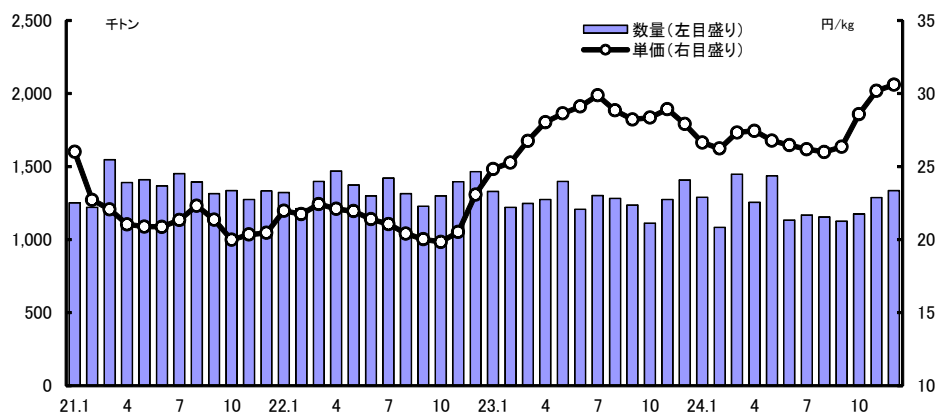
とうもろこしの平成24年の輸入量は、対前年比▲2.6%（23年は▲5.6%）とわずかに減少、輸入単価は同▲1.6%（23年は30.3%）とわずかに低下。年後半は上昇傾向。

図4-25 小麦の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-26 とうもろこしの輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

スパゲティの平成24年の輸入量は、対前年比5.9%（23年は11.7%増）とやや増加、輸入単価は同▲2.1%（23年は▲4.8%）と低下。 輸入単価は年末には上昇気配。

でん粉等・イヌリンの平成24年の輸入量は、対前年比14.7%（23年は7.7%）とかなり大きく増加、輸入単価は同▲8.4%（23年は6.9%）と低下。

図4-27 **スパゲティ** の輸入量と輸入単価の推移

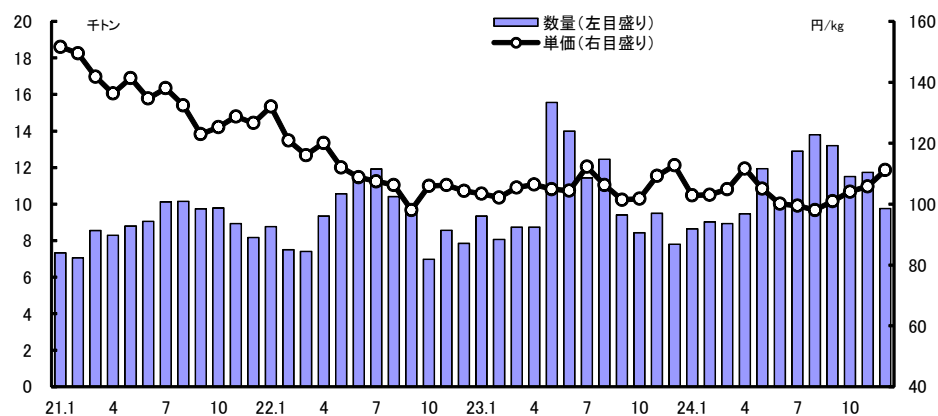
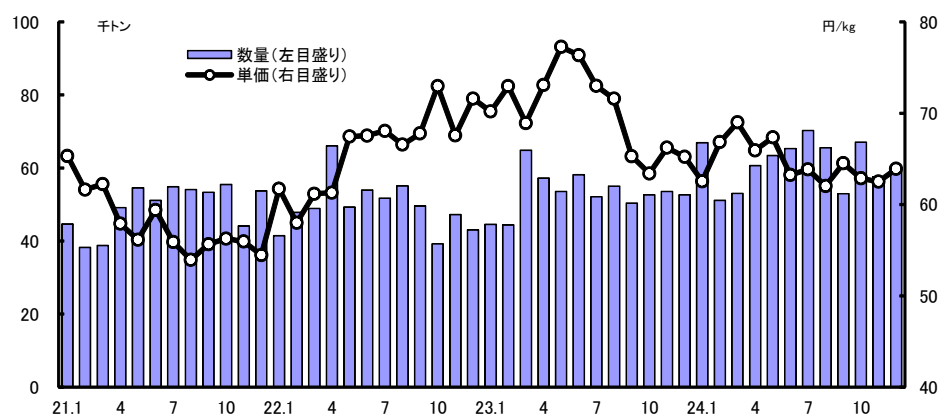


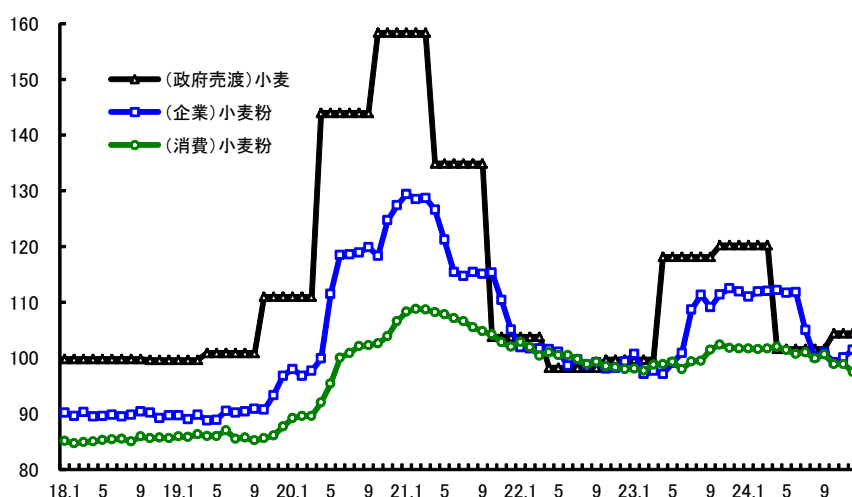
図4-28 **でん粉等・イヌリン** の輸入量と輸入単価の推移



小麦の平成24年の政府売渡価格は、対前年比▲6.2%（23年は14.1%）とかなりの程度低下したが、小麦粉の企業物価は同1.6%（23年は4.8%）上昇した。一方、小麦粉の消費者物価は同0.7%（23年は▲0.2%）と前年並みになっている。月別推移についてみると、企業物価の上昇に伴い、消費者物価も上昇しているが上昇幅は企業物価より小さくなっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成18年以降、連動しており、相関が高い。

図4-29 小麦・小麦粉の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-13 小麦・小麦粉の企業物価・消費者物価の推移

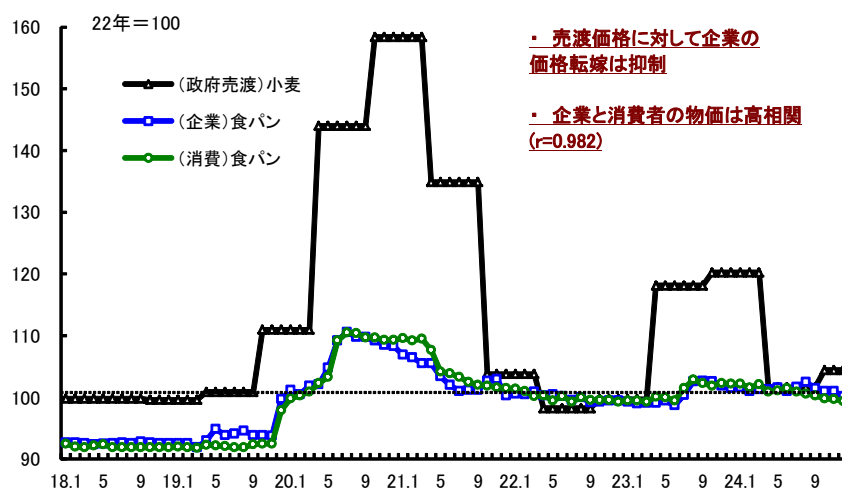
	政府売渡価格 小麦	企業物価 小麦粉	消費者物価 小麦粉
指数 22年=100			
18年	99.8	89.8	85.3
19年	103.1	90.8	86.1
20年	139.3	112.5	97.9
21年	133.0	118.8	106.3
22年	100.0	100.0	100.0
23年	114.1	104.8	99.8
24年	107.0	106.5	100.5
前年増減率 %			
19年	3.3	1.0	0.9
20年	35.2	24.0	13.7
21年	▲ 4.6	5.6	8.6
22年	▲ 24.8	▲ 15.8	▲ 5.9
23年	14.1	4.8	▲ 0.2
24年	▲ 6.2	1.6	0.7

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

食パンの原料である小麦の平成24年の政府売渡価格は、対前年比▲6.2%（23年は14.1%）とかなりの程度低下したが、食パンの企業物価は同0.8%（23年は0.5%）と前年並み。消費者物価も同▲0.1%（23年は0.9%）と前年並み。月別推移についてみると、企業物価と消費者物価は低下基調となっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成18年以降、連動しており、相関が高い。

図4-30 食パンの企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-14 食パンの企業物価・消費者物価の推移

	政府売渡価格 小麦	企業物価 食パン	消費者物価 食パン
指数 22年=100			
18年	99.8	92.6	92.0
19年	103.1	94.1	92.6
20年	139.3	106.3	106.2
21年	133.0	103.3	104.7
22年	100.0	100.0	100.0
23年	114.1	100.5	100.9
24年	107.0	101.3	100.8
前年増減率 %			
19年	3.3	1.6	0.7
20年	35.2	13.0	14.7
21年	▲ 4.6	▲ 2.9	▲ 1.4
22年	▲ 24.8	▲ 3.2	▲ 4.5
23年	14.1	0.5	0.9
24年	▲ 6.2	0.8	▲ 0.1

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

即席麺の原料である小麦の平成24年の政府売渡価格は、対前年比▲6.2%（23年は14.1%）とかなりの程度低下し、即席麺の企業物価は同▲1.0%（23年は▲0.4%）とわずかに低下、消費者物価は同▲0.3%（23年は▲0.5%）と前年並み。月別推移についてみると、企業物価と消費者物価は概ね横ばいとなっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成18年以降、連動しており、相関が高い。

図4-31 即席麺の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

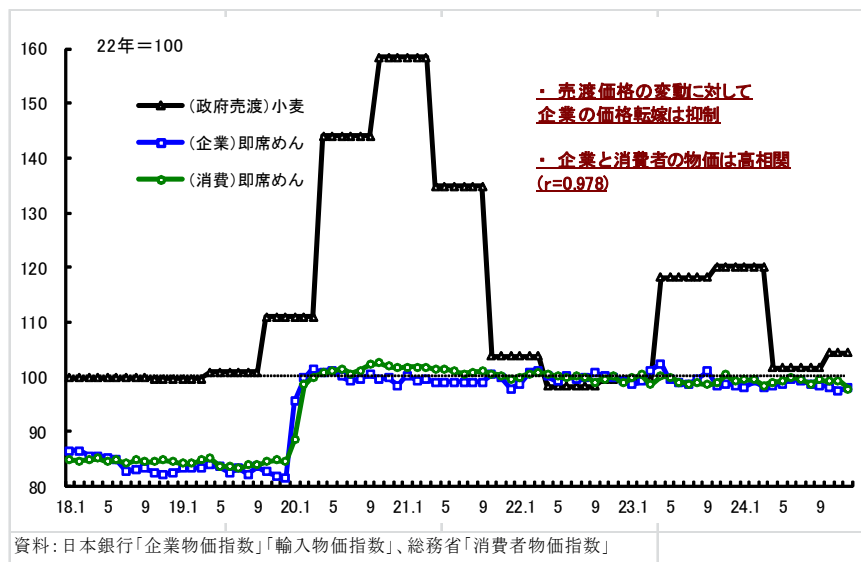


表4-15 即席麺の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	政府売渡価格 小麦	企業物価 即席めん	消費者物価 即席めん
指数 22年=100			
18年	99.8	84.3	84.7
19年	103.1	83.0	84.2
20年	139.3	99.7	100.1
21年	133.0	99.3	101.0
22年	100.0	100.0	100.0
23年	114.1	99.6	99.5
24年	107.0	98.6	99.2
前年増減率 %			
19年	3.3	▲ 1.5	▲ 0.6
20年	35.2	20.1	18.9
21年	▲ 4.6	▲ 0.4	0.9
22年	▲ 24.8	0.7	▲ 1.0
23年	14.1	▲ 0.4	▲ 0.5
24年	▲ 6.2	▲ 1.0	▲ 0.3

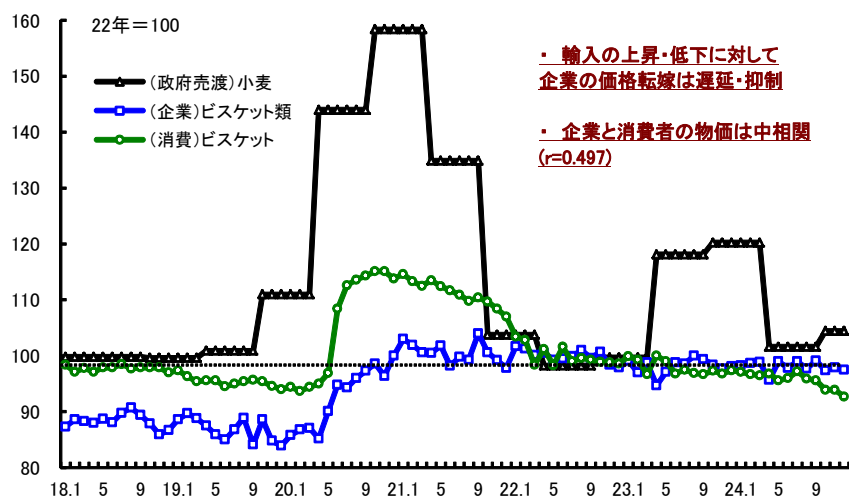
資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

ビスケットの原料である小麦の平成24年の政府売渡価格は、対前年比▲6.2%（23年は14.1%）とかなりの程度低下したが、ビスケットの企業物価は同▲0.1%（23年は▲1.9%）と前年並み、消費者物価は同▲2.2%（23年は▲2.1%）と低下。月別推移についてみると、企業物価は横ばい傾向、消費者物価は緩やかな低下傾向となっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成18年以降、相関があるものの、平成24年は乖離がみられる。

図4-32 **ビスケット**の企業物価・消費者物価の推移

図1 ビスケットの企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-16 **ビスケット**の企業物価・消費者物価の推移

	政府売渡価格 小麦	企業物価 ビスケット類	消費者物価 ビスケット
指数 22年=100			
18年	99.8	88.3	97.8
19年	103.1	86.9	95.4
20年	139.3	92.7	105.7
21年	133.0	100.6	111.2
22年	100.0	100.0	100.0
23年	114.1	98.1	97.9
24年	107.0	98.1	95.7
前年増減率 %			
19年	3.3	▲ 1.6	▲ 2.5
20年	35.2	6.7	10.8
21年	▲ 4.6	8.5	5.2
22年	▲ 24.8	▲ 0.6	▲ 10.1
23年	14.1	▲ 1.9	▲ 2.1
24年	▲ 6.2	▲ 0.1	▲ 2.2

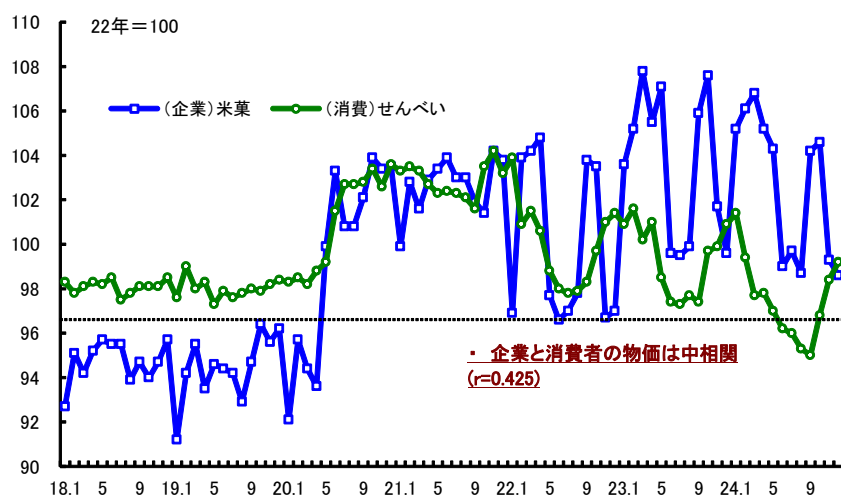
資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

米菓の平成24年の企業物価は対前年比▲0.9%（23年は3.6%）と前年並み、せんべいの消費者物価も同▲1.9%（23年は▲0.6%）とわずかに低下。月別推移についてみると、企業物価は変動が大きく概ね横ばい傾向、消費者物価は24年9月では一貫して低下し、それ以降上昇に転じている。

なお、企業物価と消費者物価は平成18年以降、相関がみられるものの、平成24年は乖離が大きくなっている。

図4-33 米菓の企業物価・消費者物価の推移

図1 米菓の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-17 米菓の企業物価・消費者物価の推移

	企業物価 米菓	消費者物価 せんべい
指数 22年=100		
18年	94.7	98.1
19年	94.5	98.0
20年	99.5	101.0
21年	102.7	102.9
22年	100.0	100.0
23年	103.6	99.4
24年	102.6	97.5
前年増減率 %		
19年	▲ 0.3	▲ 0.1
20年	5.3	3.1
21年	3.2	1.9
22年	▲ 2.6	▲ 2.8
23年	3.6	▲ 0.6
24年	▲ 0.9	▲ 1.9

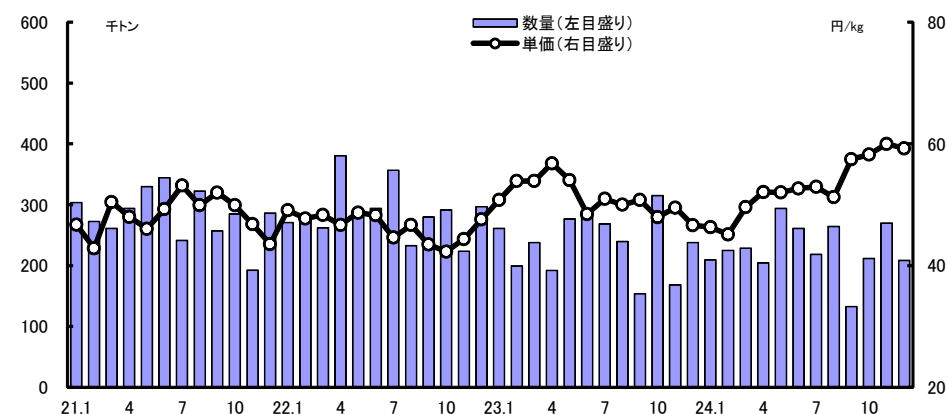
資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

（５）食用油脂・同加工品

大豆の平成24年の輸入量は、対前年比▲3.7%（23年は▲18.1%）とやや減少。輸入単価は同3.9%（23年は9.7%）とやや上昇。しかし、年後半は高騰。

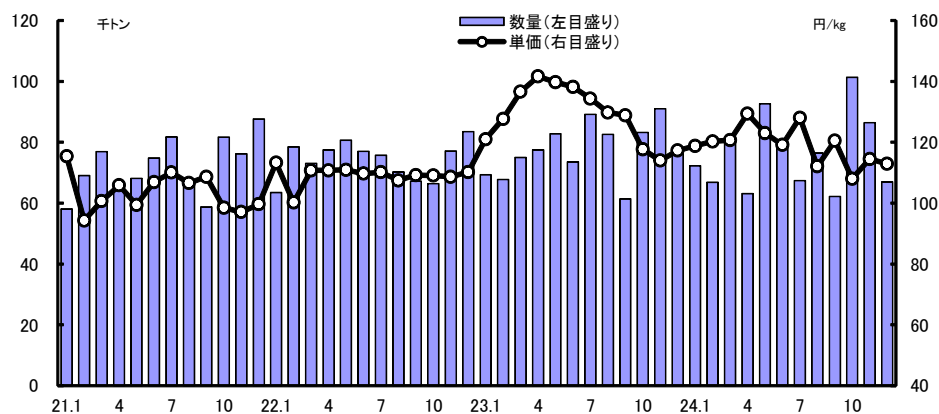
油脂の平成24年の輸入量は、対前年比▲1.4%（23年は4.4%増）とわずかに減少。輸入単価は同▲8.0%（23年は18.0%）とかなりの程度低下。

図4-34 **大豆**の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-35 **油脂**の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」